※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)世界史セミナー①	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史（山川出版社）						
副教材等	最新世界史図説　タペストリー　二十四訂版（帝国書院）、新世界史研究ノート応用編（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歴史総合」の学習で身に付けた資質・能力を基に、世界の歴史の大きな枠組みと展開 に関わる諸事象について、地理的条件や日本 の歴史と関連付けながら理解するとともに、事象の意味や意義、特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を探究する

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	近世ヨーロッパ世界の動向 産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	1　ルネサンス 2　宗教改革 3　主権国家体制の成立 4　オランダ・イギリス・フランスの台頭 5　北欧・東欧の動向 6　科学革命と啓蒙思想 産業革命 アメリカ合衆国の独立と発展 フランス革命とナポレオンの支配 中南米諸国の独立 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 アメリカ合	a:ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題を理解している。北欧・東欧の各国の関係の推移や、それぞれにおける改革の内容を理解している。科学革命と呼ばれる一連の変化がどのような背景で起こったのかを理解している。産業革命が18 世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。19 世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848 年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。19 世紀後半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、時代的な背景や各国の共通点・相違点もふまえて理解している。南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。19 世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。 b:美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。覇権争いの経過や「権利の章典」などの資料をもとに、イギリスが覇権を握るに至った要因を多面的・多角的に考察し表現している。ロシア・プロイセン・オーストリアの状況を比較したうえで、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。ルネサンスとの比較をふまえて、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。アメリカ独立宣言や「権利の章典」（第11 章４節）などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度	提出課題 発問評価 授業態度

※令和４年度以降入学生用

		衆国の発展 19 世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し表現している。アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。19 世紀欧米文化のさまざまな事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 c：ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。オランダ・イギリス・フランスの覇権争いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。北欧・東欧の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。科学革命と啓蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。19 世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。19 世紀欧米の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

	アジア諸地域の動揺　帝国主義とアジアの民族運動	西アジア地域の変容 南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの激動 第２次産業革命と帝国主義 列強の世界分割と列強体制の二分化 アジア諸国の変革と民族運動	a: オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。第２次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 b:マムルークの一掃を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。文字資料「マカートニーの 1794 年１月の日記」やアヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 西アジアの変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。南アジア・東南アジアの植民地化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。第２次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度	提出課題 発問評価 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度